

## 1 次試験 専門科目

### (5. 考古学・歴史学)

(注意) 解答は、設問 (ローマ数字の I、II、III……) ごとに別の解答用紙を用いること。

次の設問中から 2 問を選択して日本語で解答せよ。

- I. 新石器時代の定義を示したうえで、日本考古学においてそれに該当すると考える時代について概観するとともに、その概念を適用することの是非について論ぜよ (1000 字以内)。
- II. 以下の語群から 5 つを選んで、それぞれ説明せよ (各 100 字以内)。  
杏葉、グレート・ジンバブエ、黒曜石、紫香楽宮、唐三彩、  
土馬、婦好墓、分銅形土製品、ホライズン、モンテリウス
- III. 日本の律令制国家の変遷を律・令・格・式を素材に説明しなさい。
- IV. 二度にわたる蒙古襲来に際し、日本はどのような対応をとったか。また、蒙古襲来が日本に与えた影響について、政治・経済・文化の諸方面から説明しなさい。
- V. 次に挙げる語句のうち、4 つ (各グループから 1 つずつ) を選んで、簡潔に (数行程度で) 説明を加えよ。  
(1) 『太平御覧』 『五経正義』 (2) 顔師古 裴松之  
(3) 祆教 景教 (4) 靖難の変 靖康の変
- VI. 清代における「考証学」の発展について、その背景と歴史的意義を中心に、具体的事例を示しながら簡明に説明せよ。
- VII. 15 世紀から 19 世紀にかけての大西洋の奴隷貿易について説明せよ。
- VIII. 神聖ローマ帝国の歴史について知るところを記せ。